

take the plunge

～思い切って踏み出す～

先日、米国の知人から、日本の大学で教鞭を執ることになったというメールが来ました。そこには、自分が一大決心した経緯、日本の教育や日本に対する熱い思いが記されていました。

よく“人生は運と縁”と言われますが、思いも寄らぬタイミングで、決断するきっかけとなる人との出会いやチャンスが巡ってくることがあります。英語で言えば window of opportunity (機会の窓→絶好のチャンス) という言葉がぴったりですね。

Last year I decided to **take the plunge** and opened my own café in Kanazawa.

昨年、思い切って決断し、金沢にカフェを開きました。

take the plunge (思い切って踏み出す) というフレーズです。plunge は「高い所から突っ込むように落下すること」。例えば plunge in share prices といえば「株価の暴落」のことです。

したがって take the plunge は「(リスクは高く大きな不安はあるものの) 思い切って踏み出す、やってみる」という意味になります。give it a try (やってみる) よりも決意は重く、退路を断った一大決心という感覚でしょうか。「清水の舞台から飛び降りる」に近いかもしれません。

My gut instinct tells me that I should put aside my worries and **take the plunge**.
私の本能的な直感は、心配は脇に置いて、思い切って踏み出すべきだと言っています。

gut instinct は gut (直感、勘) と instinct (本能、直感) を組み合わせた「(論理的ではない) 本能的な直感」というフレーズです。gut feeling ともいいます。

put aside は文字どおり「脇に置く」。put the joke aside (冗談はさておき) という言い回しもあります。

A friend of mine **took the plunge** and run for the Lower House.

私の友人は、一大決心をして衆議院に立候補しました。

take the plunge は、他人について語るときにも使います。例文は、take the plunge into politics (思い切って政治の世界に飛び込む) という覚悟を示しています。

英語メディアでは the Lower House (衆議院、下院)、the Upper House (参議院、上院) もよく使われます。覚えておきましょう。

単語・熟語チェック

gut instinct 本能的な直感

put aside 脇に置く

run for ~ ~に立候補する

the Lower House 衆議院